

フレッシュ研修報告

～フレッシュ研修を振り返って～

遊畑 玄樹 （保健体育科）

1 はじめに

平成31年度（令和元年度）の新規採用者として鹿児島県立奄美高等学校に赴任した。ちょうど一年前の1～3月頃は採用試験に合格した喜びと、赴任先がどこになるのかという期待と不安ばかりの日々を過ごしていたことも、慌ただしく過ぎていった日々のなかでは懐かしく思える。当時の私は特別支援学校に勤務しており3年生の担任を務めていた。3月の卒業式後に赴任先が「奄美高校」に決まったことが分かり、卒業生を送り出した余韻に浸る暇もなかったことを今でも鮮明に覚えている。そして奄美高校で私のフレッシュ研修は始まった。

2 フレッシュ研修とは

フレッシュ研修（初任者研修）は、新任教員及び任用2年目、3年目の教員に対して、教育公務員特例法第21条及び第23条の規定や、「かごしま教員育成指標」及び「鹿児島県教員等研修計画」に示された方針に基づき、現職研修の一環として、新規採用後の3年間の研修を実施し、教員としての使命感と実践的指導力を養い、幅広い知見を得させるとともに、地域の一員としての自覚を確立することを目的とするものである。

3 フレッシュ研修の研修体系（高等学校）

	校内における研修	校外における研修
初任校1年目 研修	1. 基礎的要素 2. ホームルーム経営 3. 教科指導 4. 特別活動 5. 生徒指導・キャリア教育 6. 総合的な探求の時間	・基礎研修 ・県総合教育センターにおける研修 ・研究授業研修 ・他校種参観Ⅰ ・宿泊研修 ・他校種参観Ⅱ ・一年目課題研修
初任校2年目 研修	・2年目課題研修 ・研究授業研修 ・個別研修	・地域貢献体験研修 ・人権教育教職員等研修
初任校3年目 研修	・研究授業研修 ・個別研修	・なし

4 研修を振り返って

校内における研修は一般指導と教科指導から成っている。一般指導は体系図で示した6項目を満遍なく行う。それぞれの校務分掌でチーフをされている先生方に指導をして頂き、具体的な内容で研修を進めることができた。また教科指導は教科指導の基礎技術や個に応じた学習の進め方など、実際に授業を進める上で大切なことや具体的な方法など研修を通して学ぶことができた。

校外における研修では辞令交付式後に行われる基礎研修に始まり、特別支援学校や小学校を体験する他校種参観、キャンプや野外炊飯を経験する宿泊研修など様々な研修を受けてきた。その中でも印象に残ったのが、宿泊研修の際に行われたハブ対策の講座である。生きたハブを捕まえる実習は奄美大島でのフレッシュ研修ならではだ。夜には天体観測も行い、はっきりと見える天の川はとても美しく奄美の自然を感じる貴重な体験をさせて頂いた。また、研究授業研修は数名の新規採用者が研究授業を行い、新規採用者全員で授業研究を行うものである。そのため高校採用の同期が集まる機会となり、同じ教科や、教科の枠を越えた意見交換を通して、とても良い刺激になる研修であった。

5 研究授業について

フレッシュ研修では年に三回の研究授業を行うものが基本とされており、私も6月、10月、12月にそれぞれ教科（体育・柔道）教科（保健・医薬品と健康）特別活動（ホームルーム活動）の研究授業を行った。

(1) 令和元年 6月 14日（金）2校時

単元名 「武道」柔道

本時の目標「相手を効率良く投げるためにはどうすればよいか考えよう！」



グループごとに映像を見ながら効率良く投げるためにはどうすればよいか話し合いながら技の練習に取り組んだ。

(2) 令和元年10月18日(金)第5校時

単元名「生涯を通じる健康(保健・医療制度及び地域の保健・医療機関)」

題材「医薬品と健康」

本時の目標

「医薬品の安全性を高めるしくみを理解して、医薬品を正しく使用できるようになる」



長い制度の名前や薬の使用方法など覚えるために、クイズ形式にしてグループで考えながら取り組んだ。

(3) 令和元年12月5日(木)第1校時

特別活動(ホームルーム活動)

主題「就職に必要な条件について考えよう」



2年生のLHR。就職に必要な条件(給料, 休み, やりがいなど)に順位付けをした。個人とグループで何が大切かの意見交換を通して様々な考え方に気づいた。

6 フレッシュ研修（1年目）の反省

まず、校内における研修の教科指導で教えて頂いたことを実際の授業で試す場面が少なかったと感じた。体育・保健どちらも一つのやり方ではなく、様々な授業の型を身に付けることが今後の課題である。そのためにはまず大切になるのが生徒の実態把握だ。普段からよく観察し、生徒の実態・個に応じた授業ができるようにしたい。また、研究授業を行って感じたのは発問の仕方に工夫が必要であることやワークシートを上手に活用すること、図やイラストの視覚教材を増やす必要があることである。自分のなかで万全な準備をして望んだつもりでも必ず改善点はある。たくさんの先生方に意見を頂くことが大切だ。

研修を通して学んだ情報量はとても多い、それをすべて理解するのはとても困難であると感じる。大切なことはしっかりと自分の中で「ここが重要なところだ」とポイントを理解して自分のものにしていくことだ。「分からない」ことを良いわけにして、受け身になってしまうこともしばしばあったのも反省点だ。まだ2年目3年目と研修は続く、疑問に思ったことなど積極的に質問する姿勢を大切にしていきたい。

7 まとめ

多くの先生方に助けて頂きながらフレッシュ研修1年目を終えることができた。指導教官の先生をはじめ、保健体育科の先生方や所属教科の先生方にはとくにお世話になり、感謝してもしきれない。自分の未熟さを感じた一年であったが、奄美高校の先生方・生徒達に恩返しできるようにこれからも自己研鑽に努めたい。